

令和2年度 大阪府立港南造形高等学校 第3回 学校運営協議会 議事録

日 時 令和3年3月12日（金） 15:00～15:30

場 所 本校 本館1階 ガイダンスルームよりオンライン実施

委 員 美濃 幸男 大阪樟蔭女子大学 非常勤講師 ※敬称略
渡邊 美香 大阪教育大学 准教授
宮原 康 近畿大学 非常勤講師

事 務 局 校長、教頭、事務長、首席、教務部長、進路指導部長、生徒支援部長、企画広報・生徒会部長、保健部長、庶務・PTA部長、造形科長、人権教育推進委員長、第1学年主任、第2学年主任、第3学年主任

議 事 1 開会の挨拶
「港南展」(卒業制作展)が開催でき、「卒業式」も実施できた。次週に、「修学旅行」を残すのみ。

2 報告

(1) 令和2年度、本校教育活動の達成状況(校長)

新型コロナウイルス感染症の影響下でも、“今できることを、無理のない範囲で”をもとに、指導の工夫・生徒の努力により、例年に近い教育活動を進めることできた。

◇修学旅行①、芸術学習の実施、修学旅行② 3/17, 18 予定

◇体育祭・文化祭に代わる「港南祭」の開催

◇「港南展(第16期生卒業作品展)」:生徒・保護者・教職員のみで開催

「第41回芸術文化祭 美術・工芸部門(コンクール展)」上記同様に開催

大阪府からの全国総合文化祭、近畿総合文化祭への出品作品は、すべて本校生徒作品

◇各コンクール等の入賞

3年生が関西美大主催の2つの大きな全国コンクールの両方で「大賞」と「学校賞」を受賞
同じく3年生一般コンクールでも「大賞」を受賞

◇「カウンセリング室」の改修、対応教員の充実により、教育相談・支援が大きく改善

◇タブレット活用による授業改善が全教科で進展 → 全HRにプロジェクター設置

◇「令和2年度 学校経営計画及び学校評価」(評価案) 【別紙】

◇「令和3年度 学校経営計画及び学校評価」(計画案) 【別紙】

(2) 各部・科より報告

① 教務部

(1) 年間行事予定(修正後)

4月、5月、そして10月には1週間完全休校になった影響で、授業日の確保が苦労した。しかしながら、7月、8月には特別時間割を組んで、実習科目中心の時間割を組んだりして、“今できることを、無理のない範囲で”、そのときに考えられる最善に取り組むこと

ができた。来年度は、休校になるかもしれないことを想定して、少し多めに授業日を確保した。

(2) 新教育課程

令和4年度から年次進行で実施される新教育課程についての素案は完成した。来年度の1学期で修正を終えて、2学期にはシラバスの作成に移る。

(3) 令和3年度教科書選定

主に教科主任で構成される教科書選定委員会を中心に、令和3年度の教科書選定を終えた。

② 生徒支援部

(1) 制服について

全学年が新制服となった。旧制服時代と変わらずスカートを、切ったり、ウエストで巻き上げたりして短く加工する生徒が各学年とも数名おり学年での指導を粘り強く続け減少傾向となってきた。

熱中症対策として夏季に私服登校期間を令和元年度から設けており今年度も6月下旬から9月22日まで実施した。生徒には概ね好評であり、目的の熱中症患者を出さないということは達成できている。

(2) 生徒支援の方針

多様な生徒が入学している現状を踏まえ、取り締まり的な指導に偏らず、平素からの声掛けやカウンセリングの形態などにより生徒が納得しながらルールを守ることができる状態をめざして「支援」を行っていきたい。

③ 企画広報・生徒会部

(1) 今年度の広報活動

7月4日（土）学校説明会 …中止

11月21日（土）学校説明会＋実技講習会 …参加者を限定して開催（240名）

1月16日（土）学校説明会＋実技講習会 …中止

学校説明会に代わる「個別学校説明会＋授業見学」を9月から水曜日に11回開催。

11回で合計241名の中学生が参加。授業見学（2年生選択授業）は好評。

(2) 学校行事 「体育祭」「文化祭」を「港南祭」（11月）

体育祭と文化祭に代わる行事として「港南祭」を規模を縮小して開催。

文化的行事では、体育館での密集を避けるため、間隔を空けた座席配置と、本館各階に大型モニタを設置してライブ中継を実施。

【企画広報・生徒会とは別】

オンラインホームルーム（ZoomとGoogleMeetの2種で動作確認完了）

④ 進路指導部

(1) 進路説明会日程

3年生の進路指導は休校が明けた5月下旬からで、かなり遅いスタートとなった。併せて大学入試改革による、総合型選抜や学校推薦型選抜への変更で情報収集に苦労した。3年生への進学説明会は、進路別に適宜行うかたちとなったが、2学期以降は例年通りの進路

説明会を全学年、ほぼ実施することができた。来年度は新しい選抜方式による4月スタートの進路説明会のスケジュールを立て、実施したい。

(2) 進学指導 国公立大学・短大の合格状況、他

⑤ 保健部

(1) 生徒の体調管理

今年度は特にコロナウイルス感染拡大防止対策として以下のことを行った。

手洗い・手指の消毒指導

教員による各所消毒

教室の換気

食堂の使用方法の変更

月1回のほけんだより、健康観察カードの発行

環境保健委員による、ポスター（コロナや保健にかかわる）の作成

加湿器の設置

(2) 各種検診

コロナ感染症拡大防止による休校のため、各種検診の開始が遅くなったとともに、感染対策を行いながら、学校医の先生との予定を調整する必要があり、各種検診は11月ごろまでかかった。

(3) 学校薬剤師による検査

- ・環境消毒指導（4月9日実施）
- ・照度調査、水質検査（5月21日、11月5日実施）
- ・プール水質検査（7月9日実施）
- ・ダニ検査（7月30日実施）
- ・教室空気調査（9月3日、1月7日実施）
- ・飲料水水質調査（10月22日実施）

⑥ 庶務・PTA部

(1) PTA活動

非常事態宣言が出たため、活動を自粛せざるを得なかった。1月22日の実行委員会や織物サークルは中止、次期役員・実行委員の依頼は現役員の方が電話連絡で行い、候補者を確定できた。卒業式のロゼット（コサージュ）づくりは年内でほぼ仕上がっていたので、2月に人数を絞って完成させた。花壇づくりは年明けと卒業式前に、これも人数を絞って行った。来年度が一昨年並みの活動になると、今年度の経験がないため役員・実行委員は不安を抱えている。

⑦ 第1学年

(1) 第1学年の現状と取組

転学1名、退学1名、転入学1名、在籍199名。

大阪府高等学校芸術文化祭美術工芸部門への取り組みをおこなったもの106名。

自主制作への取り組みも本格的になっている。反面、部活動に参加していない者も多くおり、それらの生徒が学校生活の中でどのように目標意識と進路意識を持っていく

ことが出来るかが課題である。

12月に希望者向けに実技講習会を実施。77名が参加した。また、1月に外部模試として「全国統一1年記述式模試」を実施。32名が受験した。これら、積極的に進路を意識し取り組んでいる生徒が全体の意識を高める牽引役を果たしてくれることを期待している。4月の春休み期間にも実技講習を2学年と合同で実施予定。

2学期終わりごろから欠席が続く生徒が数名出てきている。その多くが中学時に不登校を経験してきた者である。それらの者は、高校に入学し、ここまで頑張ってきたものの、疲れが出てきているように感じる。

⑧ 第2学年

(1) 在籍数

199名からスタート。

現在 195名 (3名 転学 1名退学)

(2) 出席状況

長欠状態の生徒が未履修科目につながった。

体調不良、発熱、腹痛の欠席理由が多い。

遅刻者数は毎月6回以上(健康上の理由のものは省く)毎月10名ほどになった。

遅刻に関しては同じメンバーが多く、対処方法を考慮する必要がある。

(3) 修学旅行

修学旅行① 倉敷美観地区 出席171名 不参加26名

修学旅行② 3月17日(水)～18日(木)

予定 1泊2日158名 日帰り9名 不参加28名

1日目 伊勢神宮、おかげ横丁、名古屋泊(夕食コース料理)

2日目 コース①ナガシマスパーランド 82名

コース②養老公園天命反転地 76名

(4) タブレットの利用

2学期振り返り、1年間の振り返り(予定)はClassiを利用。

国語科の課題もClassiを利用している

来年度、進路指導にタブレットを活用していくことが課題。

⑨ 第3学年

共通テスト直前の講習、二次試験に向けての実技講習を行って国公立試験のに臨んだ。

(結果は進路部より)

港南展(内容は造形科より)では、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、鑑賞者は学校関係者に限って開催した。

卒業式も昨年並みに実施できた。

⑩ 造形科

コロナ禍の状況の中で、6月から授業が始まった。リモートの準備もしていたが、使

うこともなく、1年を終えることが出来た。夏には、造形の週間を作って授業を進めた

夏の「高校展」は開催されなかったが、「芸文祭」は出来たので、それに向けての制作も出来た。そして本校の卒業制作展「港南展」も開催することが出来た。本校の良さを最大限生かした授業や取組みが出来た。

⑪ 人権教育推進委員会

(1) 生徒への人権教育

・学年別に LHR を利用した人権教育

(1 学年) →いじめ防止の観点から、SNS の正しい利用方法について学習
拉致問題（アニメ 「めぐみ」）を素材とした学習

(2 学年) →いじめ防止の観点から、SNS の正しい利用方法について学習
障がい者問題の学習と車いす体験

(3 学年) →いじめ防止の観点から、SNS の正しい利用方法について学習
働くことに関連した人権問題についての学習

・全学年一斉の人権鑑賞学習

映画「グリーンブック」を鑑賞し、現在、世界的に問題となっている「人種差別の問題」について学習

(2) 教職員への人権研修

・8月に教育センター作成の視聴覚資料等を使用し、本校の人権主担を講師として「同和問題の基礎知識」についての研修をおこなった。

3 委員からのご意見

(委員) 資料から、学校は、スローガンにあるように、“今できることを、無理のない範囲で”のとおり、制限のある中でよく努力されている。

苦勞されたのが生徒の健康管理、環境整備であったのでは。また、ICTの整備が進んでいたことがコロナ禍で役に立ったのでは。

教務部は、大変だったと思う。柔軟に対応して苦勞されたと思う。熱中症対策、夏季の私服登校も良好なようなので、今後も進めてもらいたい。人権については、SNSの取組みを続けていってもらいたい。

学校説明会などが十分に出来なかったとのことであったが、入試の定員が超えてよかった。

(委員) 学校は、“やることいっぱい、先生方大忙し”であるが、結果が出ている。

この時節柄希望を失う子ども（大人）がいる。希望通りいかなかった子ども（大人）に、あったかいものを残してあげるような高校生活が送れればと思う。心が、ほかほかとなれば。

(委員) コロナ禍で大変な中で、展覧会も出来た。GIGAハイスクール構想に向け、小中学校で慣れた子どもが高校に上がって来るので、対応が必要。コロナの状況だからこそ、オンラインでも出来るけど、やはり対面でしか出来ないことが明確になった。

先生、大人の姿を見てこどもが大きくなる。“今できることを、無理のない範囲で”とおおり、今後も無理せず、学校運営を続けていってほしい。